



昭和十九年度の予算を中心とし九十六件の議案と十五件の報告を審議する三月定例市議會は、三月六日から十九日までの十四日間にあつて開かれました。この議會は、特に地方自治法の改正正にともなつた条例の改正が多く、新年度予算の表ひ方も全面的に改められました。

一般針の總額は、二十三億九千九百九十三万六千円となり、前年度当初予算に比べるゝ二億七千五百五十三万九千九百九十九円の増となり、十八・六％の増加となりました。このほか、各特別会計をはじめ提出された全議案を可決し、報告を承認し十九日閉會しました。

市長の予算編成方針は、次のとおりです。

本年は、広域経済圏の開発について、積極的に研究、努力をするにとともに、広域処理のための交通通信対策についても重点として力を注ぎ、特に、国鉄に対しては利用費を引受け、前橋駅等の整備に協力した。

また、住居表示についてはかねて準備を進めておりましたが、審議会も満足しましたので、ご意見をきき、いよいよ、地域を定めて逐次実施することいたしました。

	によるもの
小型乗用自動車購入二台買替	一五〇〇万円
国鉄利用引受	一〇〇万円
区制事務委託費	一〇九六万円
街灯、防犯灯助成	一八〇万円
徴税費	五九二万円
戸籍住民登録費	二二五万円
県知事選挙費	一八九万円
統計調査費	四五六万円
監査委員費	四八〇万円
住居表示費	二五二万円

民生費関係

社会福祉費では、としまの日の行事を始め、長期入院患者等に

衛生費関係

まず、予防接種には、特に意を注ぎ、また、医師等に対する委託料も若干改善しました。

度に行続き、衛生地区組織育成事業或は、県都清整美化モデル地区等に對して、補助を行なうとともに、一方、消費用自動車その他置備を行ないたいと思ひます。

まず、失業対策土木事業ですが

消
防
費

全国緑化運動によせて

ただし書から
本文方式を採用

なした方式と違うのは、給所
得金額から、基礎控除を引いた
後の額を課税対象として税率を
かけ、その税額から扶養親族控除
をし、市民税額を計算しました。
この税額が、基礎控除を引いた
後の額を課税対象として税率を
かけ、その税額から扶養親族控除
をし、市民税額を計算しました。
と、それぞれ次のとおり減額され
ています。(この税額は、社会保
険料、生命保険料をそれぞれ仮に
前年、五四三〇円が三五〇円に
なり、同様に、扶養親族
控除は、六十六円の人で、扶養親
族四人の場合には、
前年八四四〇円が五二四〇円にな
ります。

↓

総所得金額

↓

雑損控除	火災などの損害額
医療費控除	最高15万円まで
社会保険料控除	国民健康保険料など
生命保険料控除	最高2万2500円まで
扶養控除	1月間2人以内3万円
基礎控除	9万円

||

課税総所得金額	150万円以上 150万円以下30万円超 150万円以下 (速算増徴30%)
税率	税率
市市民税均等割	県民税均等所得割
自治体障害者・老人学・寄附奨励学生(1,000円)	
株式配当 3% 投信 15%	株式配当 1.2% 投信 0.6%

||

市市民税所得割	県民税所得割
+ 市広域平均所得割40%	+ 県広域均等割100%
市 民 税	県 民 税
+ 市県民税	
市県民税	

（税率5%以上の課税所得額がある場合は、その額をAに引きつけて下さい。）

深代哲太氏

人権擁護委員に四氏を推せん

人権擁護委員の藤巻喜江（一毛町一五七）大竹宗吾氏（芳町八）北畑慶弥氏（後開町二）鎌小路氏（元総社町四〇）の四氏は、本年二月三十一日を期満した。人権擁護委員は、みなさんの基
本的人権を見守つてくれる委員で
す。

中学校に完全給食施設

学校の管理運営費及び教育振興のための教材費等の増額を行ない、父兄負担の軽減に努めたい。

義務教育施設については、あらたに、中学校の完全給食施設及び糟粕処理のための養護学校の建設を行なうため、本年度は、とりあへず立移居の運動を実施したい。

入学者を増設しました。

体育費については、本年はオリシニヒコ東京大開催の年であり、内外の機運に適應し、市民体育の積極的な振興をはかりたい。

工業短期大学については、短大

農協への預託金も増す

中学校傷病補助教員ならびに学校保健制度の強化、教育研究所の充実を図りたい。

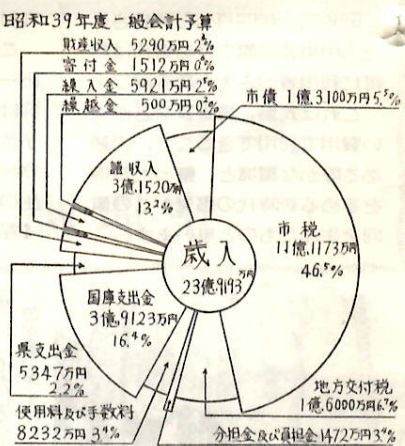
社会教育費については、芳賀公民館の改築を行なうこととした。また、懸念の農業者団体の連絡ならびに会議場としてかつ、市庁舎の別館としても有効な、農業会館の建設については、その建設用地にほぼ見

国、県支出金ならびに

の進捗が一向にない。同じく、港務局が、船舶の航行の許可及び元利補給船の形によつて救済措置を講ずることとしているようです。

そのほか、国にお金を貸すの引き締め基調によつて、若干の影響をこう見るとも考え、本年は昨年、一昨年の決算に表われまじうな大幅な増収は見込みました。

諸収入については、競輪事業収入を一億八〇〇〇万円を見込みました。



(千円以下切り捨て)

国民健康保険	3億0662万円
中央児童遊園	881万円
食肉処理場	2029万円
競 輪	11億9522万円
中小企業合理化資金貸付	3300万円
宅地造成	1億2500万円
用品調達	1億2373万円
水道事業会計予算	
収益の収入	2億1743万円
収益の支出	1億9327万円
資本の収入	4971万円
資本の支出	8430万円
下水道事業会計予算	
収益の収入	8534万円
収益の支出	8534万円
資本の収入	9262万円
資本の支出	1億0853万円

商工設備近代化に一層の努力

商工費關係

ます。商業振興対策ですが、産
労働力の充足、福利増進が、商
振興の重要な課題であるおり
に、産人系、スポンセンターの
地を購入し、総合スポットセン
を建設しようとするものです。

また、中小企業者に対する機械
の貸し付けについては、商中
金庫に対し、融資の促進をはかる

大模規な墓苑を建設

土木費関係

土木費關係

市単独の事業として、本年は、舗装道、砂利道の改良修繕を重点施策とし、橋りょうの維持及び新設

し、また、小口融資の促進のために、また、観光面の開拓、紹介などについては、都市計画事業との関連を考え、また、みなさんの協力

前橋まつり等補助 一五〇万円
中小企業合理化資金特別会計繰
出金 三〇〇万円

中小企業機械貸付	一〇〇〇万円
工業設備金融預託	五〇〇万円
重工業合理化交付金	五五二万円

工場設置奨励に基づく産業道路
等工事費 二二〇万円

（前橋信用金庫） 五〇〇万円
前橋工業団地造成組合交付金

商業設備近代化資金融資
四〇三八万円
小口融資促進寄託金一八〇万円

入(第三次) 五〇〇万円

広域経済圏の開発問題とも関連して二層研究、努力したい。

なお、本市にとって赤城山の観光は、大きな意義がありますので

宅地造成特別会計繰出金
一〇〇〇万円

市営住宅建設 六八三万円

敷島公園整備費	七〇〇万円
前橋駅前広場改修	六〇〇万円

東宮現狀新徑路築造工事 一四〇〇万円
大友西通り線街路築造工事(用 一八〇〇万円
導人)

一億〇九〇〇万円
曲輪町都市改造 七〇〇〇万円

西部第二地区土地区画整理事業
一四一七万円
一〇三万円

業 一三三万円
川原第二地区土地区画整理事業

南部第二王地区画整理事業
一〇一七万四

東部土地及面整理五七九三万円
新町土地區画整理 六六二万円
県道舗装改修負担金五〇〇万円

鋪張道砂利道新營工事費	一五〇〇万円
橋梁新設工事費	四九〇万円

おり
舗装道砂利道修繕二五〇万円
排水路掘濬修繕費九〇〇万円

発行を予定し、また、造成費分については、一般会計から繰出ししました。その主な計上額は、次のと

